

らい 来ぶらり 27

PART 2

Q：ここでは資料が見つからないのですが？

A：そう簡単にあきらめないで！

やっぱり学習院にはない……。どうしてもほしい本をあきらめてしまう前に、参考係に相談してみよう。どこかほかの図書館で所蔵していないかどうか調べる手だてがありそうだ。前号に引き続き連載してきた本特集も最終回。前回は、所蔵調査から紹介状発行までの実際をお知らせしました。今回は、文献複写と借り出しまでを、实例をまじえながら、お知らせしましょう。

(文 献 複 写)

Q：ほしい資料の所蔵館がわかりましたが、直接閲覧に行けません。どうすればよいのですか？

A：特殊な文献をのぞいて、図書館から所蔵館に複写を依頼することができます。

Q：その申し込み方法は？

A：2階カウンターに用意してある「文献複写申込書」に記入して申し込んでください。

- ・雑誌ならば、誌名・巻号・年月・何ページ～何ページ
- ・単行本ならば、著者・書名・出版者・出版年・何ページ～何ページ
- ・何を見て所蔵館を知ったか、という典拠（例えば、『学術雑誌総合目録 和文編 1985』、『国書総目録 第3巻』など）

と、依頼する内容を正確に詳しく記入してください。不完全な場合は、「参照不完」ということで返さ

れてしまうことがあります。

(国内)

Q：申し込みをしてから、複写物が届くまでの所要日数は？

A：平均1～2週間ですが、相手館の事情によります。

Q：費用は？

A：コピー代金+送料・通信費+送金料で、依頼者の全額負担です。ちなみに、コピー代金は各館によって、またはコピーの種類によって、1枚10円から200円まで、平均40～50円です。詳細は2階カウンター係員にお尋ねください。

Q：費用の支払い方法は？

A：請求書が図書館に届いたら、依頼者に連絡しますので、切手、現金書留、銀行振込、郵便振替等、相手先の指示に従って、依頼者本人が送金してください。少額るとき1番多いのは、切手に

よる送金です。

国公立大学の場合は、だいたい前払いで、複写を申し込むとまず請求書が図書館に届きます。指示された通りに送金すると、まもなく複写物が届きます。私立大学の場合は、後払いで、複写物と一緒に請求書が届きます。

Q：では、複写物の引き渡しはどのようなのですか？

A：前払いの場合は、支払い済みですので、複写物が届き次第連絡しますので、取りに来てください。後払いの場合は、銀行振込、現金書留、郵便振替であれば、その領収書と引き換えにお渡しします。切手であれば、すぐに複写物をお渡ししますので、支払い通知書と切手を送付してください。

(外国)

Q：外国へ文献複写を依頼することもできるのですか？

A：国内に所蔵館がなければ、外国へ依頼します。原則としてその本を出版した国に依頼します。申し込み手続きは基本的に国内の場合と同じです。

依頼先がイギリスの場合、外国に対する窓口になっているブリティッシュ・ライブラリー（BL）に依頼をします。もし所蔵していなければ、イギリス国内の所蔵館にまわして、バックアップしてくれます。

Q：外国の場合、申し込みをしてから、複写物が届くまでの所要日数は？

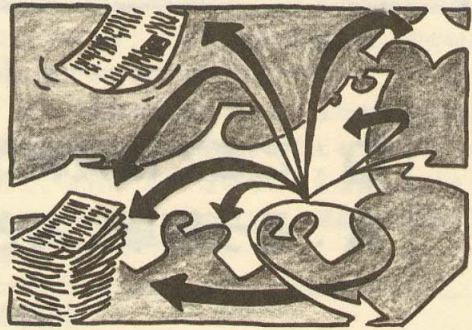
A：1～6ヶ月かかります。ですから、その期間を見込んで申し込んでください。

Q：費用とその支払い方法は？

A：費用の内訳は国内の場合と同様です。支払い方法は、イギリスの場合、クーポン券を使います。そのほかの国は次のような送金方法で、相手先の指示に従って、送金してください。①送金小切手②銀行振込③国際郵便為替④国際返信券。

イギリスの場合、クーポン券を使っています。

クーポン券は現在1枚1,200円で図書館に用意してあります。1ページ～10ページ→1,200円(1枚)、11ページ～20ページ→2,400円(2枚)、21ページ～30ページ→3,600円(3枚)で、アメリカ、フランス等も、送金手数料等を含めるとだいたい同じくらいの金額になります。



Q：ほしい資料なら何でも複写依頼できますか？

A：申し込みを受け付けたものは、できるだけ依頼しますが、次のような理由で断られることがあります。

「貴重本でコピーはできません」

「製本中につき、1ヶ月後に改めて申し込んでください」

「所在不明につき、できません」

「指定の巻号に該当論文が載っていません」

また、著作権の制限があります。

Q：著作権の制限とは？

A：出版されたものが複写の対象ですが、著者の没後50年までは、図書館が利用者のために複写できるのは、著作の半分までです。(個人が1冊を全ページ複写することは、現在のところ許されています。『来ぶらり』No.23を参照してください。)

また、次に挙げる例のような制限を受けることもあります。

(例1) 昨年、心理学科卒業生の卒論を複写してほしいという依頼が当館に届きました。この時は執筆者本人・学科の承認を得て、引用の際に必ず出典の断り書きをつけるという条件で、コピー

を送りました。

(例2) アイルランドの独立運動にかかわった政治家たちの手紙等の手書き資料の複写をアイルランド国立図書館あてに依頼しましたところ、著作権者との連絡がとれないという理由で断られました。ちなみに、依頼者は結局アイルランドへ直接行くことになりました。

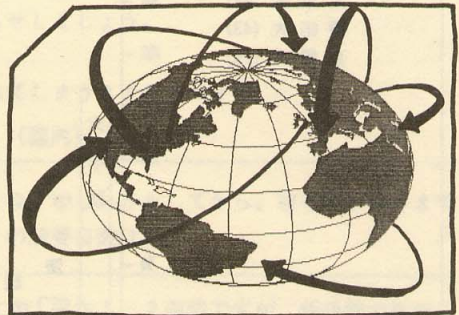
(例3) 雑誌にMimeo(謄写版刷り)と断って引用されている文献の複写をBLに依頼しましたところ、「自分の所では所蔵していない。出版されたものならば、バックアップするので、ISBN(国際標準図書番号)を知らせるように」との返事が届きました。Mimeoの複写を依頼するのは、事情や所蔵館を調査するのが大変なので、なかなか困難です。そこで、Mimeoの著者が所属するLondon School of Economicsあてに依頼しましたところ、著者と連絡をとって、Mimeoでなく、その改訂版の小冊子を無料で送ってくれました。ただし、今後は公式ルートつまりBLに依頼するようにと断り書きがっていました。

♡昨年3月末に複写依頼の申し込みがあったユークリッドの『Elementa geometriae, latine cum annotationibus Campani』(『幾何学原論』1482年版)をまずパリのBibliothèque Nationale あてに依頼したところ、断られてしまいました。また、ちょうどそのころ、10年前の展示目録で金沢工業大学に所蔵されていることがわかり、早速電話しましたが、複写は難しいとの回答であきらめていました。ところが、6月にたまたま同大学を訪問する機会があり、「マイクロフィルムにコピーしてもらえないか」直接頼んでみたら、「本の状態がよいので、2ヶ月くらいかかるかもしれないけれども、コピーをしてあげる」との良い返事をもらい、10月には、マイクロフィルムコピーを送ってもらい、依頼者に手渡すことができました。ただし、これはかなり幸運な例といってよいでしょう。

依頼された文献と金沢工業大学の所蔵本が一致するかどうか調べるための書誌類を当館では所蔵していませんので、慶応大学の図書館に協力してもらって、同定したという裏事情もあるのです。

♡私が当時探していた本は、ポリビオスという古典作家の語句索引でした。この本はなにぶんにも1795年に出版されてその後版を重ねたことのない代物で、国内には見当たらず、結局西ドイツへ直接複写依頼をすることにしました。いくらか経費が安くすむと聞いていたのでマイクロ・フィルムの形で依頼しましたところ、しばらくして届いた請求書の金額はすぐには工面のつかないほどのもので、ぐずぐずと引き延ばしてやっとお金を払い込み、さらに現物が届くまでに2ヶ月ぐらいかかったような気がします。

ともあれ、西ドイツの図書館は信頼でき、時間はかかっても確実に品物を送ってくれるので、今回の私の場合のようなマイナーな本でも比較的容易に入手できるようになりました。日本で未開拓の分野を研究する人には朗報でしょう。(史学専攻 博士前 岡田泰介)



(借 り 出 し)

Q：国立国会図書館に1冊の本を読むために、毎日通うのは大変なのですが、何とかありませんか？

A：国立国会図書館の場合は、対図書館貸出しを利用して、当館が借り出すことができます。図書館からファックスで申し込むと書留で送ってきます。期間は1ヶ月です。ただし、貴重書等を借り出すことはできません。借り出した図書は館内で閲覧してください。また、郵送料は利用者本人の実費負担です。

(4 大学相互利用)

Q：対図書館貸出しは、ほかの図書館でも行っていますか？

A：昨年は、筑波大学、広島大学、金沢大学等から計18件、借り出しましたが、貸し出してくれる図書館は限られています。この場合も館内閲覧のみ、郵送料本人負担です。ただし、これはどうしても本人が所蔵館へ行かない場合に限りです。

☺ハーバード大学から本を借りましたら、借用料15ドルを請求されました。ハーバード大学の場合は有料にしないと、1,000万冊の蔵書を世界中からあてにされてしまうからでしょう。

Q：4大学相互利用というのは、どういうことなのか教えてください。

A：本学と成蹊、成城、武蔵の各大学図書館との間で協定を結んでいますので、大学院生と専任教職員は相互に書庫に入って、図書を観覧することができます。入庫を希望する場合は、紹介状発行の際に申し出てください。

また、図書館を窓口として、ほかの3大学の所蔵資料を借り出して閲覧することもできます。ただし、これについてはいろいろな条件がありますので、詳しくは2階カウンター係員にお尋ねください。

1988年度の統計

1. 所蔵調査(556件)

主な依頼先

早稲田大(78)
東京大(64)
慶応大(43)
京都大(29)

2. 紹介状発行(575件)

主な紹介先

東京大(171)
早稲田大(139)
慶応大(48)
女子美大(17)

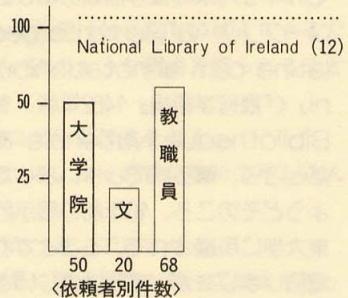
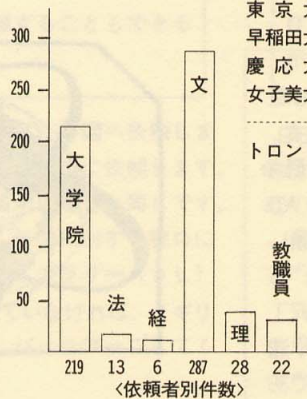
トロント大(1)

3. 文献複写依頼(138件)

主な依頼先

日本大(12)
筑波大(11)
京都大(10)
早稲田大(10)

National Library of Ireland(12)



編集後記

今回は、「来ぶらり」創刊以来初めて、本格的な特集記事に連載で取り組んでみました。学外の図書館を利用するために必要にして十分な、実際的なノウハウとテクニックを網羅してあります。前号と併せて、是非他機関利用のためのハンドブックとしてご活用下さい。なお、本特集のための資料収集・協力等は、広瀬司書(運用課)にお願いしました。

さて、今回のテーマと関連した「リクエスト」制度を御存知でしょうか。これは必要な図書を図書館で購入してもらう制度です。学生購入希望図書に関しては、条件があるにせよ、その大部分が購入されています。詳しくはカウンター等でお尋ね下さい。

来ぶらり No.27 1989年10月1日発行

発行責任者：高本 進 編集委員：鈴木宗一 工藤晶子

学習院大学図書館 〒171 東京都豊島区目白1-5-1 ☎(986)0221